

山笑う

なかむらみやこ

山笑う

山のあちらこちらに

うす桃色の

山桜が満開に咲いている

本当に山が笑っている

白い歯を出して笑っている

春が来たよと白い両手を

たたいて喜んでいる

山は春を迎え 山は春を歓び

山は春を謳歌している

山笑う 山笑う

私も山に誘われ 心笑う 心笑う



世界中が花でいっぱいになったら
〈なかむら みやこ〉(日本文学館 出版)

著者は水川区出身・神奈川県在住の中村美弥子さん。「童話や詩を書くことが、日々を一層楽しく幸せにしてくれる」と話します。ふるさとの思い出を主な題材として作った詩集を昨年秋に発行しました。山村開発センター図書室でご覧になれます。

本中生徒2名が夏樹静子賞(最優秀賞)に輝く

3月23日、山村都市交流センター「ささま」(島田市)で第9回夏樹文庫作文コンクールが開催されました。作家の夏樹静子さんが戦時中に笹間に疎開していたことをきっかけに隔年で開催されており、今回の作文テーマは「大切なこと」「大事にしたいこと」でした。

本川根中学校の小澤功弥さんと大村晔音さんが最高賞である夏樹静子賞(最優秀賞)に、森永ひかりさんが優秀賞に選ばれました。

小澤さんは「いつもがあることに感謝し精一杯生きよう」との内容が評価され、大村さんは「失敗を恐れず勇気を持って伝えることの大切さ」が評価されました。



◀ ⑤から小澤さん、大村さん、森永さん
▼ 関係者の皆さん



春らんまん

